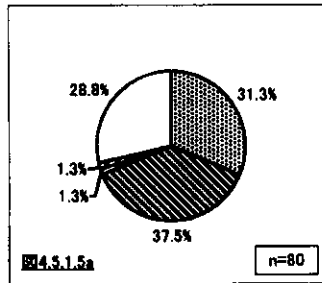


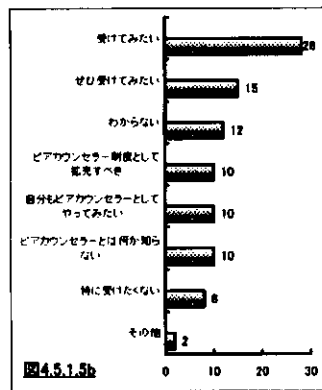
表/図4.5.1.3カウンセリングについて

■ 受けたことがある/受けよう	58
▨ 受けたことがない/受けたくない	18
□ 無回答	4
有効回答数	80



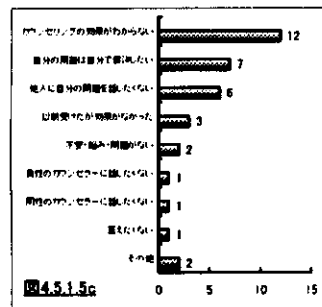
表/図4.5.1.5aHIV診療におけるカウンセリング

■ 必要不可欠	23
▨ あった方がよい	30
□ 特に必要なし	1
■ その他	1
□ 無回答	23
有効回答数	80



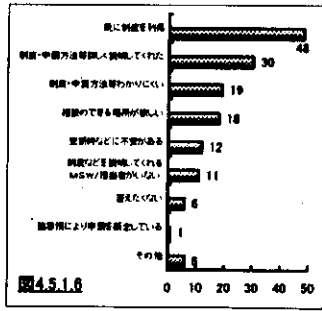
表/図4.5.1.5bピアカウンセラーについて(複数回答)

受けてみたい	28
ぜひ受けてみたい	15
わからない	12
ピアカウンセラー制度として 拡充すべき	10
自分もピアカウンセラーとして やってみたい	10
ピアカウンセラーとは何か知ら ない	10
特に受けたくない	6
その他	2
無回答	22
合計	117
実回答数	58



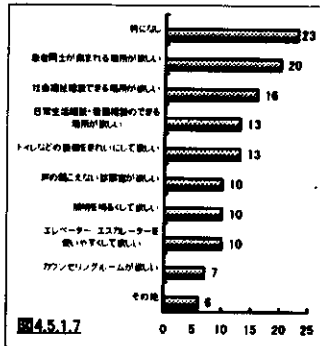
表/図4.5.1.5cカウンセリングを受けていない理由(複数回答)

カウンセリングの効果がわからない	12
自分の問題は自分で解決したい	7
他人に自分の問題を話したくない	6
以前受けたが効果なかった	3
不安・悩み・問題がない	2
異性のカウンセラーに話したくない	1
同性のカウンセラーに話したくない	1
話さない	1
その他	2
無回答	57
合計	92
実回答数	23



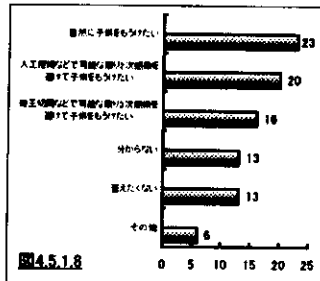
表/図4.5.1.6 社会福祉資源の利用について(複数回答)

既に制度を利用	48
制度・申請方法等詳しく説明してくれた	30
制度・申請方法等わかりにくい	19
相談のできる場所が欲しい	18
更新時などに不安がある	12
制度などを説明してくれるMSW/担当者がない	11
答えたくない	6
随時期により申請を断念している	1
その他	6
無回答	7
合計	158
実回答数	73



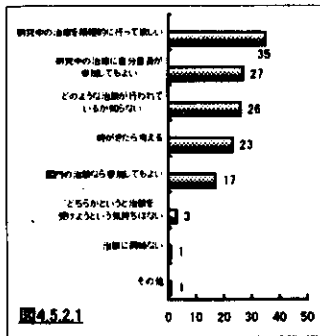
表/図4.5.1.7 院内の設備に対する要望(複数回答)

特になし	23
患者同士が混まれる場所が欲しい	20
社会福祉相談できる場所が欲しい	16
日常生活相談・看護相談のできる場所が欲しい	13
トイレなどの設備をきれいにして欲しい	13
声の聞こえない診察室が欲しい	10
照明を明るくして欲しい	10
エレベーター・エスカレーターを使いやすいように欲しい	10
カウンセリಂಗールームが欲しい	7
その他	6
無回答	6
合計	134
実回答数	74



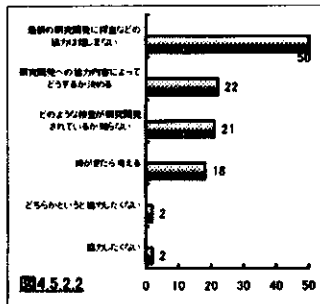
表/図4.5.1.8 育児希望・出産に関して(複数回答)

自然に子供をもうけたい	23
人工授精などで可能な限り2次感染を避けて子供をもうけたい	20
帝王切開などで可能な限り3次感染を避けて子供をもうけたい	18
分からない	13
答えたくない	13
その他	6
無回答	60
合計	151
実回答数	20



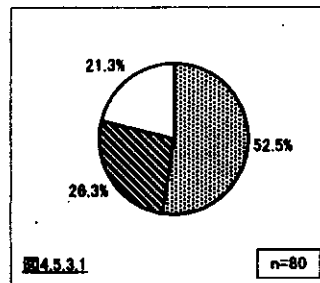
表/図4.5.2.1 新薬・治療法の治療に関する意見(複数回答)

研究中の治療を積極的に行って欲しい	35
研究中の治療に自分自身が参加してもよい	27
どのような治療が行われているか知らない	26
時間がたつて来ると	23
国内の治療なら参加してもよい	17
どちらかといえば治療を受けようという気持ちはない	3
治療に興味ない	1
その他	1
無回答	0
合計	133
実回答数	80



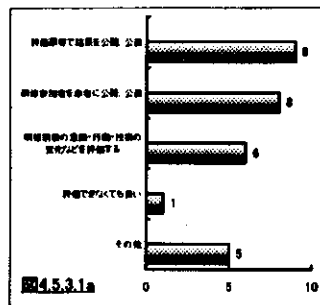
表/図4.5.2.2 研究的検査・保険適応外検査に関する意見(複数回答)

最新の研究開発に採血などの協力は惜しまない	50
研究開発への協力内容によってどうするか決める	22
どのような検査が研究開発されているか知らない	21
時間がたつて来ると	18
どちらかといえば協力したくない	2
協力したくない	2
無回答	0
合計	115
実回答数	80



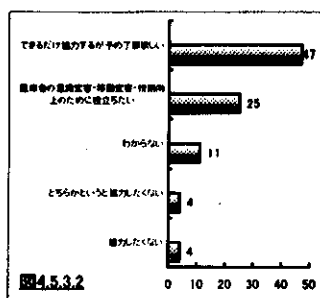
表/図4.5.3.1 医療従事者研修の評価

できる	42
できない	21
無回答	17
有効回答数	80



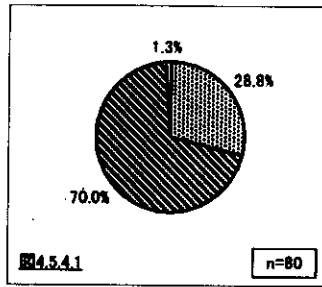
表/図4.5.3.1a 評価方法(複数回答)

研修費等で結果を公開・公表	9
研修参加者を随時公開・公表	8
研修前後の意識・行動・技術の変化などを評価する	6
評価できなくても良い	1
その他	5
無回答	1
合計	30
実回答数	20



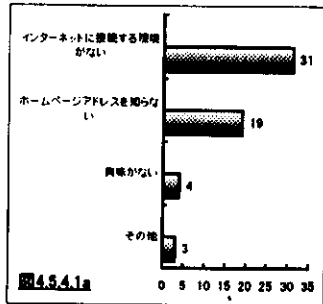
表/図4.5.3.2 医療従事者研修に関する意見(複数回答)

できるだけ協力するが予め了解し	47
医療者の意識改善・行動改善・技術向上のために協力したい	25
わからない	11
どちらかといえば協力したくない	4
協力したくない	4
無回答	3
合計	94
実回答数	77



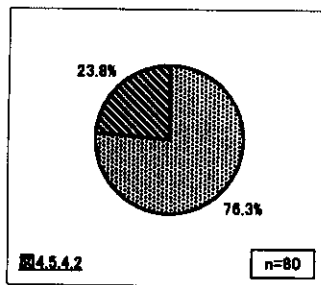
表/図4.5.4.1 ホームページについて

見たことがある	23
見たことがない	56
無回答	1
有効回答数	80



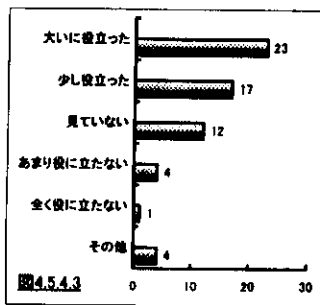
表/図4.5.4.1a 見たことがない理由(複数回答)

インターネットに接続する環境がない	31
ホームページアドレスを知らない	19
興味がない	4
その他	3
無回答	6
合計	63
実回答数	50



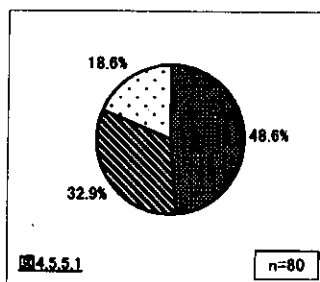
表/図4.5.4.2 パンフレット等について

見たことがある	61
見たことがない	19
無回答	0
有効回答数	80



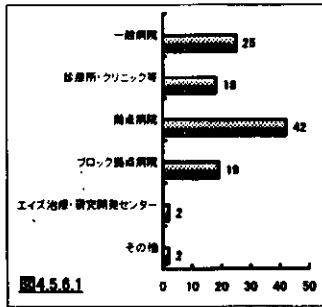
表/図4.5.4.3 情報提供内容の有用度(複数回答)

大いに役立った	23
少し役立った	17
見ていない	12
あまり役に立たない	4
全く役に立たない	1
その他	4
無回答	19
合計	80
実回答数	61



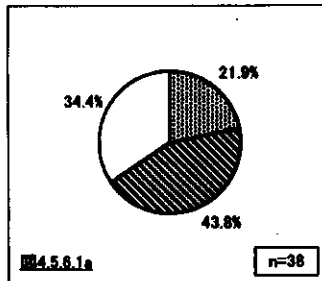
表/図4.5.5.1 拠点病院の認知度

どこか知らない	34
どこか知っているが通院はしていない	23
どこか知っている通院もしている	13
無回答	10
合計	80



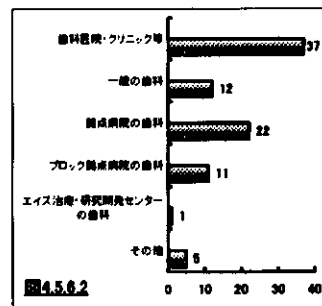
表/図4.5.6.1一般病院等への受診について(複数回答)

一般病院	25
診療所・クリニック等	18
拠点病院	42
ブロック拠点病院	19
エイズ治療・研究開発センター	2
その他	2
無回答	3
合計	111
実回答数	77



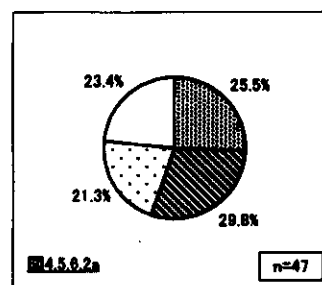
表/図4.5.6.1a一般病院・診療所・クリニック等の受診時感染申告

○ 言う	7
□ 言わない	14
□ 言えない	11
無回答	6
有効回答数	38



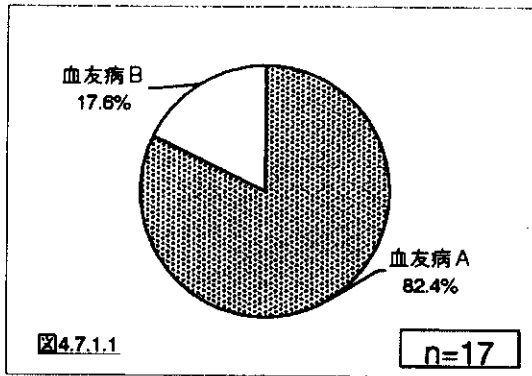
表/図4.5.6.2歯科治療・受診について(複数回答)

歯科医院・クリニック等	37
一般の歯科	12
拠点病院の歯科	22
ブロック拠点病院の歯科	11
エイズ治療・研究開発センターの歯科	1
その他	5
無回答	7
合計	95
実回答数	73



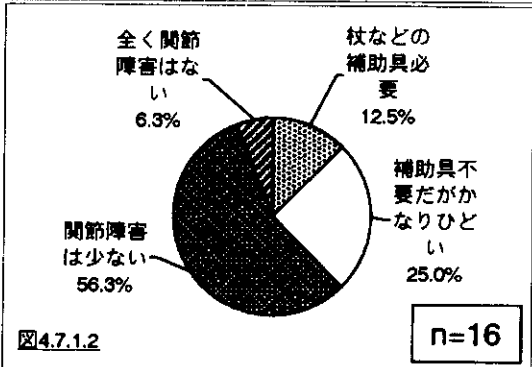
表/図4.5.6.2a歯科医院・クリニック等の受診時感染申告

○ 言う	12
□ 言わない	14
□ 言えない	10
無回答	11
有効回答数	47



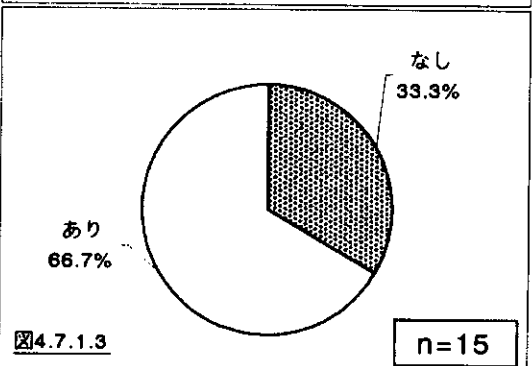
表/図4.7.1.1 血友病の型

血友病A	14
血友病B	3
有効回答数	17



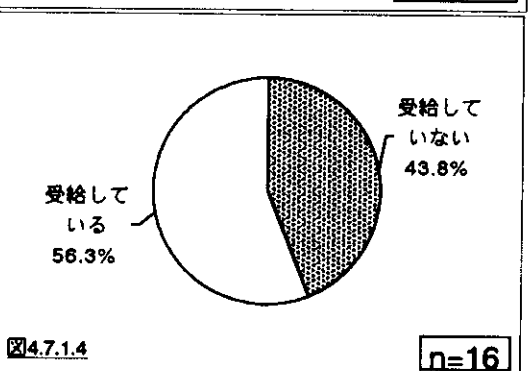
表/図4.7.1.2 血友病関節症の程度

杖などの補助具必要	2
補助具不要だがかなりひどい	4
関節障害は少ない	9
全く関節障害はない	1
無回答	1
有効回答数	16



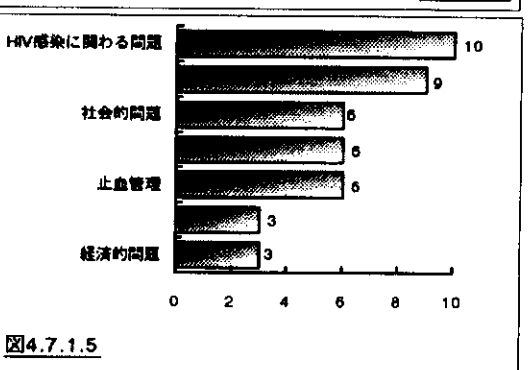
表/図4.7.1.3 身体障害者手帳の有無

なし	5
あり	10
無回答	2
有効回答数	15



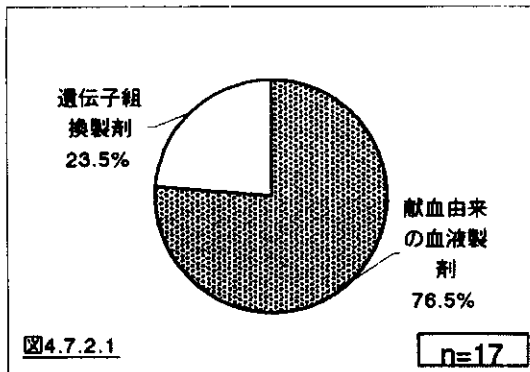
表/図4.7.1.4 障害基礎年金の受給状況

受給していない	7
受給している	9
無回答	1
有効回答数	16



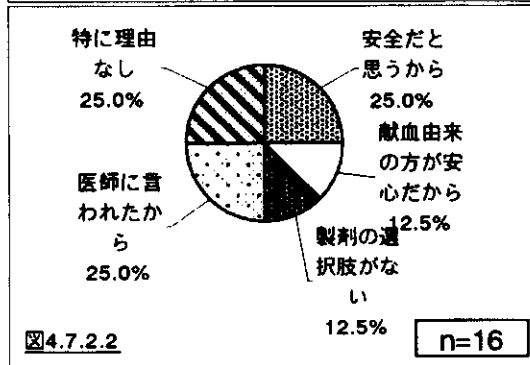
表/図4.7.1.5 血友病に起因して困っている内容

経済的問題	3
心理的・精神的問題	3
止血管理	6
整形外科的問題	6
社会的問題	6
慢性C型肝炎等の問題	9
HIV感染に関わる問題	10
のべ回答数	43
実回答数	17



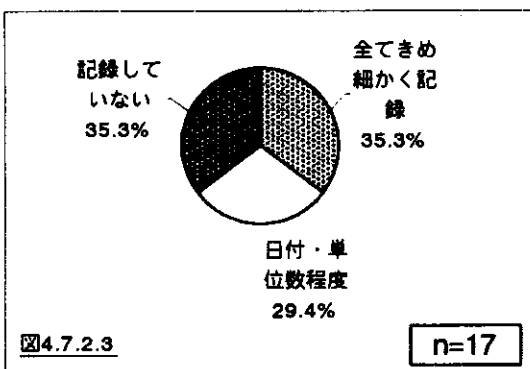
表/図4.7.2.1 使用している製剤

献血由来の血液製剤	13
遺伝子組換え製剤	4
有効回答数	17



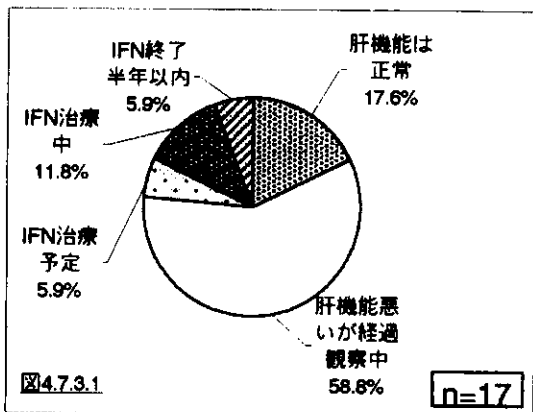
表/図4.7.2.2 製剤の選択理由

安全だと思うから	4
献血由来の方が安心だから	2
製剤の選択肢がない	2
医師に言われたから	4
特に理由なし	4
無回答	1
有効回答数	16



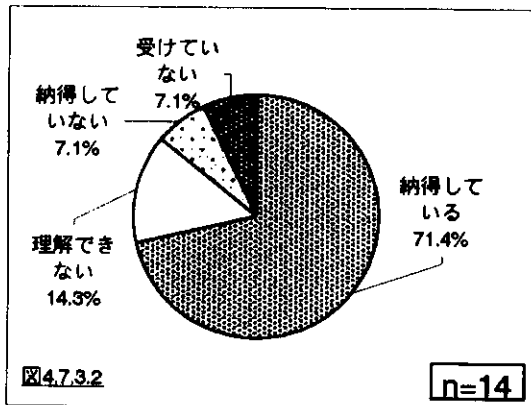
表/図4.7.2.3 輸注管理の記録状況

全てきめ細かく記録	6
日付・単位数程度	5
記録していない	6
有効回答数	17



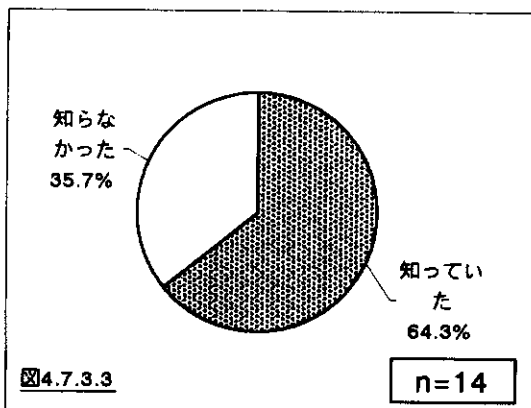
表/図4.7.3.1 最近の慢性C型肝炎の状況

肝機能は正常	3
肝機能悪いが経過観察中	10
IFN治療予定	1
IFN治療中	2
IFN終了半年以内	1
無回答	0
実回答数	17



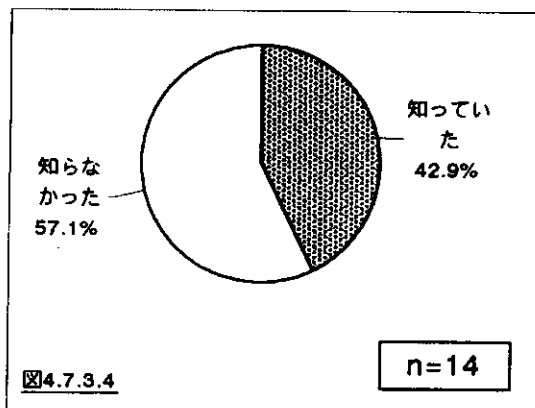
表/図4.7.3.2 慢性C型肝炎についての医師の説明

納得している	10
理解できない	2
納得していない	1
受けていない	1
無回答	3
有効回答数	14



表/図4.7.3.3 インターフェロンの再投与

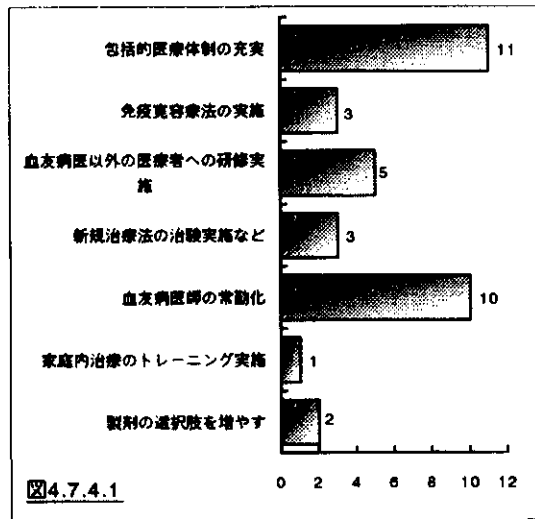
知っていた	9
知らなかった	5
無回答	3
有効回答数	14



表/図4.7.3.4 IFNとリバビリンの併用療法

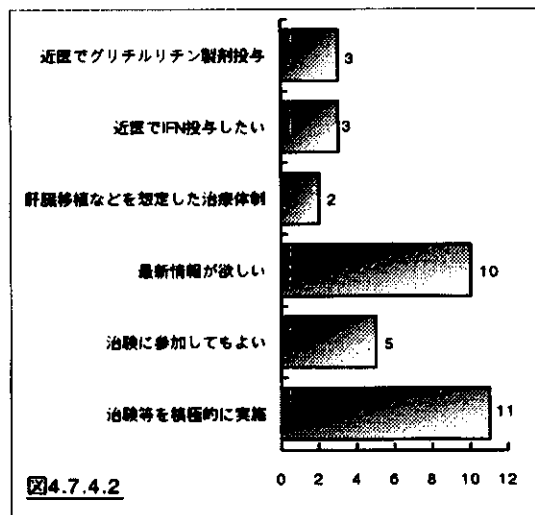
知っていた	6
知らなかった	8
無回答	3
有効回答数	14





表/図4.7.4.1 血友病診療体制に希望すること

製剤の選択肢を増やす	2
家庭内治療のトレーニング実施	1
血友病医師の常勤化	10
新規治療法の治験実施など	3
血友病医以外の医療者への研修実施	5
免疫寛容療法の実施	3
包括的医療体制の充実	11
のべ回答数	35
実回答数	17



表/図4.7.4.2 C型肝炎治療体制に希望すること

治験等を積極的に実施	11
治験に参加してもよい	5
最新情報が欲しい	10
肝臓移植などを想定した治療体制	2
近医でIFN投与したい	3
近医でグリチルリチン製剤投与	3
のべ回答数	34
実回答数	14

資料2

### HIV診療体制についての 患者ニーズ・実態調査 (近畿ブロック用)

平成12年度厚生科学研究費補助金  
エイズ対策研究事業  
「HIV感染症の医療体制に関する研究」  
主任研究者 白根 孝晴

当てはまるものにチェック“レ”して下さい。

\*\*\*\*\*

記入日 年 月 日

記入者

患者本人 家族・パートナー等(患者との説明)

患者の年齢

0~10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

患者の性別 男 女

感染の時期 過去3年以内 過去10年以内 10年以上前

患者の居住地

北海道 東北 関東 甲信越 東海

北陸 近畿 中国 四国 九州

(可能なら記入願います。 部・道・府・県)

\*\*\*\*\*

### 1. 当院の受診について

1) 当院がHIV/AIDS診療のブロック拠点病院であることを知っていましたか?  
知っていた 知らなかった

2) HIV診療を受けたのは、当院が初めてですか?

初めて  
以前から別の医療機関で受けていた  
上記質問(1.2)で「初めて」と回答された方に伺います。当院を初めて受診した状況について以下の項目から1つ選んで下さい。  
外来受診 入院(手術前からの入院含む)  
上記質問(1.2)で「以前から別の医療機関で受けていた」と回答された方に伺います。当院を受診した状況について以下の項目から1つ選んで下さい。  
外来受診 入院

3) 現在の告知状況について伺います。御自身が以外にHIV感染の事実を知っている又は知らされたのはどなたですか?当てはまるものを全て選んで下さい。  
患者 配偶者 パートナー 父親 母親 兄弟姉妹  
子供 兄弟姉妹( ) 友人(名数)  
NPO その他( ) 答えたくない

4) 当院を受診するための負担はありますか?  
ある  
その内容を教えてください(いくつでも可)。  
経済的負担(月額の )  
時間的負担(片道 時間)  
身体的負担(詳しく )  
精神的負担(詳しく )  
その他(詳しく )  
答えたくない  
ない

5) 当院のHIV診療を受診する主な理由をお答え下さい。  
受診する医療機関として  
理由を記入して下さい。  
他の医師の意見(セカンドオピニオン)を聞きたいから  
最新鋭検査・高精度HIV検査を受けるため  
答えたくない  
その他( )

6) 遠くから(他の都道府県から)当院を受診されている方に伺います。その理由を教えてください(いくつでも可)。  
ブロック拠点病院だから  
評判だから  
他にHIV診療を受けられる医療機関がない

別の病院・専科ではHIV診療を受けたくない  
その理由:

HIV診療を受けられる医療機関を知らない  
答えたくない  
その他( )

7) 当院のHIV診療を受診するにあたり、誰の紹介を受けましたか?  
紹介を受けた  
どこからの紹介を受けましたか?(いくつでも可)  
以前・現在の主治医・他の医療者から  
HIV-NPO・患者会の紹介  
行政機関から  
保健所から  
日本赤十字社・献血センター等から  
友人・知人から  
その他・ホームページなど( )  
紹介を受けていない

8) 当院のHIV診療を受診して良かった点があれば教えてください。  
[ ]

9) 当院のHIV診療に関して、不満に感じられる点があればお答え下さい(いくつでも可)。  
内科外来 他科の外来 個別診  
検査室 検査室 検査室(個別診療等含む)  
その他 特になし 答えたくない

10) 当院のHIV診療に関して、不満に感じられる点があればお答え下さい(いくつでも可)。  
主診医 他科の医師 HIV検査管理員  
内科の外来管理員 他科の管理員 病棟の管理員  
薬剤師 相談カウンセラー 看護カウンセラー  
臨床検査技師 臨床検査技師 検査技師  
その他( )  
特になし 答えたくない

11) 今までHIV感染に関する個人情報(プライバシー)保護、医療者の守秘義務に不安を感じたことがありますか?  
ある  
詳しく:  
[ ]  
ない

### 2. 内科外来について

過去1ヶ月の平均したHIV診療に関する内科外来受診状況について伺います。過去1ヶ月以上入院されている方は、過去の外来での状況をお答え下さい。

1) HIV診療は、常設、随時、カウンセラー、HIVなどの複数の職種が随時的にケアを提供しています。この点について感じられることなど、当てはまるものを選んで下さい(いくつでも可)。  
非常に評価されている  
ある程度評価されているようだ  
チームの連携があまり感じられない  
他科のスタッフも随時的に加わるべきである  
守秘保護・個人情報(プライバシー)保護の確保が難しい  
チーム連携は必要ない  
現状のままでよい  
その他( )

2) HIV 検査・日常生活習慣の対応について伺います。(いくつでも可)  
不明点などについて丁寧に教えてくれた  
感じなかったが別あたりなかった  
忙しそうで声をかけられなかった  
特に感じることがなかった  
受付や診察室で日常生活習慣と関連する機会さえなかった  
余りなかった  
HIV検査管理員が質を知らない  
その他( )

3) HIV検査・日常生活習慣を受けた結果どうなりましたか? 受けたことがない方は、次の質問(3)に答えて下さい。  
問題を自分で解決する気持ちになった  
少し気持ちが楽になった  
解決しなかった  
もう相談したくない  
帰るスペースが狭くはないので相談する気になれない  
答えたくない  
その他( )

4) HIV検査・日常生活習慣の内容について伺います。不十分だった点・内容を教えてください(いくつでも可)。  
ウイルスの説明 検査・治療の説明 薬物・治療の説明  
副作用等の説明 日常生活習慣の説明  
感染予防(日傘・性生活の注意点など) 医療者の説明  
検査結果の説明 HIV-NPO、患者会などの情報  
検査結果の通知 診察上の悩みに対する相談  
日常生活での悩みに対する相談 随時的なケアへの対応  
カウンセリングや心理的ケアへの対応 検査室への紹介  
答えたくない  
その他( )

資料2つぎ

6) 診療の待合時間について伺います。いつもどこまで待っていますか？

いつも診察室の近くで待っている  
 他の診療室と合いくないので別の待合にいる  
 コピーや食費など全く見直しは済んで待っている  
 答えたくない  
 その他 ( )

6) 診療までの待ち時間について伺います。いつもどれくらい待っていますか？

すぐに診てもらえる  
 待てない  
 待ち時間が長いと思う (予約の時間までに診てもらえない)  
 (どのくらい予約の時間から約 \_\_\_\_\_分、時間をずらす)  
 答えたくない  
 その他 ( )

7) 診療時間について伺います。

十分な時間がある  
 待てないとも、長いとも思わない  
 診察時間が短い (診療内容、診療法等)  
 答えたくない  
 その他 ( )

8) 主治医の説明について伺います。

わかりやすい説明を受けて現在治療に納得している  
 説明を受け時間があつたが尋ねることができない  
 説明を受け時間が足りなかった  
 説明を受け時間があつたが現在治療に納得していない  
 (その理由: )  
 答えたくない  
 その他 ( )

9) 主治医の説明内容について伺います。不十分だった点・内容を教えてください (いくつでも可)。

ウイルスの説明  疾患・病態の説明  診断・治療法の説明  
 副作用等の説明  日常生活での注意  検査結果の説明  
 検査結果の解釈・治療法など  治療方針の説明  
 検査結果の解釈・検査結果の検査点など  
 検査結果の説明  検査結果の説明  
 HIV、HCO、患者会などの情報  治療期間への対応  
 日常生活での飲みに対する情報  治療期間への紹介  
 カウンセリングや心理的ケアへの対応  治療期間への紹介  
 答えたくない  その他 ( )

10) 検査室の対応について伺います。

いやな思いをしたことがある  
 (詳しく )  
 特に不満はない  答えたくない  
 その他 ( )

11) 検査科 (放射線科、CT、MRI、超音波エコー、心電図、etc.) の対応について伺います。

いやな思いをしたことがある  
 (詳しく )  
 特に不満はない  答えたくない  
 その他 ( )

12) カウンセリングを受けた方に伺います (いくつでも可)。  
 受けたことがない方は、次の項目 13) に移して下さい。

a. 受けたカウンセラーを下から選んで下さい (いくつでも可)

直前の内科カウンセラー  
 精神科・神経科のカウンセラー  
 直前の泌尿科カウンセラー  
 その他 ( )

b. カウンセリングを受けたきっかけは何ですか？ (いくつでも可)

告知  パートナー告知  
 医師・看護師  副作用など  
 その他治療上の不安・悩み・問題  
 心理的不安・悩み・問題  
 社会的不安・悩み・問題 (プライバシー、仕事等)  
 その他 ( )

c. カウンセリングを受けた結果どうなりましたか？ (いくつでも可)

自分で解決する気持ちになった  
 少し気持ちが楽になった  
 まだカウンセリングを受けたい  
 誰かのカウンセラーに会ってみたい  
 もうカウンセリングを受ける気持ちはない  
 全く解決しなかった  
 答えたくない  
 その他 ( )

13) HIV 検査結果・服用薬の対応について伺います (いくつでも可)。

不明点などについて丁寧に教えてくれた  
 特に不満はない  
 話したかったが見えたらなかった  
 忙しいので話をかけられなかった  
 待てなかった  
 医師・看護師で検査結果と話す機会がなかった  
 会いたくない  
 HIV 検査結果が誰なのか知らない  
 いやな思いをしたことがある  
 (詳しく )  
 答えたくない  
 その他 ( )

14) 薬剤相談・指導を受けた結果どうなりましたか？ (いくつでも可)  
 受けたことがない方は、次の項目 5) に移して下さい。

薬の副作用・安全性などが十分理解できた  
 治療内容に納得できた  
 治療を続けようという気持ちになった  
 新たに薬剤の問題が明らかになった  
 薬剤について知ることができた  
 薬について知ることができた  
 薬について知ることができた  
 いやな思いをしたことがある  
 (詳しく )  
 答えたくない  
 その他 ( )

15) 薬剤相談・指導の説明内容について伺います。不十分だった点を教えてください (いくつでも可)。

ウイルスの説明  疾患・病態の説明  診断・治療法の説明  
 副作用等の説明  日常生活での注意  検査結果の説明  
 検査結果の解釈・治療法など  治療方針の説明  
 HIV、HCO、患者会などの情報  治療期間への対応  
 日常生活での飲みに対する情報  治療期間への紹介  
 カウンセリングや心理的ケアへの対応  治療期間への紹介  
 答えたくない  その他 ( )

3. 入院病棟について  
 入院病棟のある方に伺います。  
 入院したことがない方は、次の項目 4) に移して下さい。

1) 病棟看護職の対応について伺います (いくつでも可)。

身体に感じられて安心した  
 チーム意識が働いた  
 不明点などについて丁寧に教えてくれた  
 疾患の説明などは 1人の看護職にして欲しい  
 話したかったが見えたらなかった  
 忙しいので話をかけられなかった  
 待てなかった  
 会いたくない  
 HIV 検査結果が誰なのか知らない  
 検査結果・個人情報 (プライバシー) 保護に不安がある  
 できるだけ患者会看護職が関わるようにして欲しい  
 現状のまま  
 看護の余裕あり  
 (詳しく: )  
 いやな思いをしたことがある  
 (詳しく: )  
 答えたくない  
 その他 ( )

2) HIV 感染者の入院受け入れ状況など、病棟で感じられたことなどについて伺います (いくつでも可)。

どんな状況でも看護体制を確保  
 看護体制の方が良い  
 状況などに応じて看護・検査・検査・医療者が相談すべき  
 看護体制の確保が分からない  
 看護体制の確保を感じない  
 感染 (3人部屋、4人部屋) の方が良い  
 感染の対策など、見守りの人に頼むのが大変  
 他の患者と交流するのには気が引ける  
 特にない  
 いやな思い・聞かされたことがある  
 (詳しく: )  
 答えたくない  
 その他 ( )

3) 病棟看護について書くことなど、何でも結構ですでお書き下さい。

4. 他科・診療時間外の受診状況  
 HIV 診療に関連して他科受診・時間外受診をされたことがある方に伺います。  
 他科受診の経験がない方は、次の項目 5) に移して下さい。

1) 他科を受診されて感じられていることなど、書いてもらえるものを選んで下さい (いくつでも可)。

内科との連携を強固にとって治療していると思う  
 特に不満はない  
 内科との連携 (申し送りなど) が感じられない  
 (よろしければ別名を: \_\_\_\_\_ 科)  
 いやな思いをしたことがある  
 (詳しく )  
 答えたくない  
 その他 ( )

2) 休日・夜間などに受診された方に伺います。

対応が早く良かった  
 時間外受診の対応が十分でなかった  
 看護職の対応が十分でなかった  
 特に不満はない  
 いやな思いをしたことがある  
 (詳しく )  
 答えたくない  
 その他 ( )

3) 他科受診・時間外診療の体制について書くことなど、何でも結構ですでお書き下さい。



資料2つづき

HIV診療体制についてのアンケート調査

8) 貴院からの情報ほどの程度役立っていますか？

全く役に立たない  
 (役に立たない理由: )

あまり役に立たない  
 (役に立たない理由: )

見ていない  
 (見ていない理由: )

少し役立った  
 (役に立った理由: )

大いに役立った  
 (役に立った理由: )

その他 ( )

4) 今必要としている情報は得ですか？、今度は、どのような情報が必要と  
 なると思いますか？

8.5 他の拠点病院に対して

拠点病院がどこか知らない

拠点病院がどこか知っていて関係もしている  
 その関係に対して不満足な点(こと)など、自由にお書き下さい。

その関係に対して満足していることなど、自由にお書き下さい。

その関係を他の拠点病院に提供することなど、自由にお書き下さい。

拠点病院がどこか知っていないが関係はしていない  
 拠点病院に期待することなど、自由にお書き下さい。

- 13 -

HIV診療体制についてのアンケート調査

8.6 一般病院・歯科医院等に対して

1) 少しだけ具合悪い時や風邪をひいた時など、どの病院に行きますか？

診療所・クリニック等

一般病院

以上の1つを選んで方に伺います。  
 受診するときHIV感染を申し出ますか？

言う 言わない 答えない

(その理由: )

拠点病院

プロック拠点病院

エイズ診療・研究開発センター

以上の3つを選んで方に伺います。  
 なぜこの医療機関を受診しますか？

HIV 診療部があるから

評判だから

他の理由 ( )

その他 ( )

・一般病院：直前に期待することなど、自由にお書き下さい。

2) 貴の治療をするとき、どの病院に行きますか？

診療所・クリニック等

一般病院の産科

上の2つを選んで方に伺います。  
 受診するときHIV感染を申し出ますか？

言う 言わない 答えない

(その理由: )

拠点病院の産科

プロック拠点病院の産科

エイズ診療・研究開発センターの産科

上の3つを選んで方に伺います。  
 なぜこの医療機関を受診しますか？

HIV 診療部があるから

評判だから

他の理由 ( )

その他 ( )

・産科産科：産科医科に期待することなど、自由にお書き下さい。

- 14 -

HIV診療体制についてのアンケート調査

8.意見・要望事項、何でも結構ですのでお書き下さい。

・国・自治体・産科等に対して

・地方自治体・産科等・教育機関等に対して

・国（厚生省、文部省等）に対して

・NGO・マスコミ・その他でも

以上でHIV診療体制に関するニーズ・実態調査を終了致します。  
 長い時間ご協力ありがとうございました。

- 15 -

- 16 -

資料2つづき

血友病診療体制についての患者ニーズ・実態調査 (近畿ブロック用)

平成12年度厚生科学研究費補助金 エイズ対策研究事業 「HIV感染症の医療体制に関する研究」 主任研究者 白根 琢郎

以下の項目について、当てはまるものにチェック「し」して、可能な範囲で記入して下さい。

入日 年 月 日
友病の型 □血友病A □血友病B □vWB 等類感染症
因子の活性 約 % □以下 □以上
インヒビター □なし □あり (ベセスダ)
身体障害者手帳の有無 □なし □あり (級)
障害基礎年金の受給 □受給していない □受給している (級)

6) あなたの製剤の輸注・止血管理の記録状況について記入して下さい。
□日付、出血部位、単位数、ロット番号などを全てきめ細かく記録している
□日付、出血部位、単位数などを記録していない
□記録していない
□その他

7) 血友病治療製剤について感じる事など、安全性・技術開発・供給体制・品質・薬価等、何でも結構ですので、お書き下さい。
[ ]

8) 公費負担制度の説明をどこで受けましたか? (いくつでも可)
□病院 □施設
□薬局・地方自治体 □他の患者・患者会など
□覚えていない □その他
具体的に誰から説明を受けましたか?
□主治医 □薬剤師
□看護師 □医師
□患者会の医療相談員・電話相談など
□他の患者から
□患者会職員
□その他

9) 身体障害など社会福祉制度を利用しての方に伺います。福祉制度の説明をどこで受けましたか? (いくつでも可)
□病院 □施設
□薬局・地方自治体 □他の患者・患者会など
□覚えていない □その他
具体的に誰から説明を受けましたか?
□主治医 □薬剤師
□看護師 □医師
□患者会の医療相談員・電話相談など
□他の患者から
□患者会職員
□その他

10) 医療における今後の血友病診療体制について、感じられている事など、何でも結構ですのでお書き下さい。
[ ]

1. 血友病診療について

1) 血友病 (類縁疾患含む) と診断されたのは、いつ頃、どこで受けましたか?
いつ 年頃
どこで
□病院で
□施設で
□分からない・覚えていない
□その他

2) 血友病 (類縁疾患含む) によって、現在あなたが悩んでいること (不安なこと) は何ですか?
□HIV 感染に変わる問題
□関節内出血や脳内出血等の止血管理
□血友病性関節炎などの整形外科的問題
□慢性C型肝炎をはじめとする肝炎問題
□選挙・就労・結婚などの社会的問題
□経済的問題
□心療的・精神的問題
□答えたくない
□その他

3) 当院 (内科) の血友病診療を受診するにあたり、誰の紹介を受けましたか?
□紹介を受けた
どこからの紹介を受けましたか? (いくつでも可)
□以前・現在の主治医・他の医療者から
□小児科からの紹介
□内科・皮膚科の紹介
□行政機関から
□薬局から
□日本赤十字社・献血センター等から
□友人・知人から
□その他・ホームページなど
□紹介を受けていない

4) 現在、あなたが使用している血友病治療の製剤を教えてください。
□血友病由来の高純製剤 ( □製 剤子 □製 剤子 )
□遺伝子組換え製剤 ( □製 剤子 □製 剤子 )
□インヒビター-治療用複合製剤
□インヒビター-治療用遺伝子組換え製剤
□分からない
□その他

5) 前問で回答した製剤を選択し使用している理由をお聞かせ下さい。
□安全だと思うから □献血由来の方が安心だから
□遺伝子組換え製剤の方が安心だから □製剤の選択がないから
□費用に恵まれたから □仕方なく
□特に理由はない
□その他

11) 当院における今後の血友病診療体制について、希望する事項を教えてください (いくつでも可)。

□新製剤の導入を早める
□遺伝子製剤の自己注射・家庭内注射のトレーニングを実施する
□血友病診療を専断化する
□新しい製剤の導入・新製剤の供給などの協力を
□血友病専門医以外の医師等に血友病診療を行う
□インヒビター患者への免疫寛容療法などを行う
□他の病状 (内科、整形外科、眼科、婦人科等の連携) を充実させる
□その他

2. 当院における慢性C型肝炎治療について

1) 最近の慢性C型肝炎治療の状況を伺います。
a. 最近の慢性C型肝炎治療の状況を教えてください。
□肝機能が正常である
□肝機能が良くないが経過観察している (様子を見ている)
□もうすぐインターフェロン治療を受けることが決まっている (入院待ちである)
□現在、インターフェロン治療を受けている
□現在、インターフェロン治療を受けるかどうか迷っている
□インターフェロン治療の終了医療 (半年以内) で経過観察している
□過去にインターフェロン治療を受けたが肝機能が正常になった
□過去にインターフェロン治療を受けたが効果がありなかった
□分からない
□答えたくない
□その他

b. 医師の慢性C型肝炎治療についての説明はどうでしたか。
□わかりやすい説明を受けて納得している
□説明を受けて疑問点があったが納得することができなかった
□説明を受けたが疑問点で納得していない
□説明を受けたが納得しなかった
□説明を受けていない
□答えたくない
□その他

c. 慢性C型肝炎治療についての医師の説明内容について伺います。不十分だった点・内容を教えてください (いくつでも可)。
□予後の説明 □薬品・治療の説明 □費用・給付金の説明
□患者自身の病等 □副作用等の説明 □治療上の悩みに対する相談
□答えたくない
□その他

資料2つづき

全日本肝臓学会に関するアンケート調査書

4. インターフェロン治療を受けていない方(受けたことがない方)に伺います。  
治療への意欲を教えてください。  
受けたことがある、もしくは受けている方は次の設問5)に移ってください。

- いずれも受けようと思っていない
- 今のところ定期検査のみで良い
- 受ける予定なし
- 分からない
- 答えたくない
- その他( )

5. 定期的な検査をしていますか？

- している  していない
- 検査内容を教えてください(いくつでも可)。
- 肝臓超音波( )ヶ月に1回
- 超音波エコー検査( )ヶ月に1回
- CTなどの画像診断検査( )ヶ月に1回
- その他( )

6. 慢性C型肝炎の最近の病態について伺います。  
a. インターフェロン治療が終了した後、HCV が再出現した場合、もう一度インターフェロン治療が受けられることを知っていますか？

- 知っている
- 知らなかった

b. リンチリンとインターフェロンを併用する治療法を知っていますか？

- 知っている
- 知らなかった

7. 当院における今後の慢性C型肝炎治療体制に何を希望しますか？(いくつでも可)

- 最新の治療法・治療を積極的に行って欲しい
- 患者自身が最新の治療法・治療に参加してもよいと考えている
- C型肝炎治療に関する最新情報が欲しい
- どちらかという治療を受けようという気持ちはない
- 治療に興味ない
- 肝臓移植などを希望した治療体制を備えて欲しい
- インターフェロンを避ける薬剤などで治療できたらよい
- グリチルワレン製剤(例: 塩化ネオミノファーゲンC®)等を避ける薬剤などで治療できたらよい
- 特になし
- その他( )

全日本肝臓学会に関するアンケート調査書

3. 整形外科治療について伺います。

1) 血圧的疼痛程度を教えてください。

- 手術が必要である(どの関節: )
- 手術が必要ないが補助具(杖、巻具など)が必要である(どの関節: )
- 補助具が必要ないが関節痛がかなりひどい(どの関節: )
- 関節痛は少ない(生活に支障を来さない程度である)
- まったく関節痛はない
- 答えたくない
- その他( )

2) 現在の整形外科(リハビリテーション科含む)の受診状況(過去1年以内)を伺います。

- 受診している
  - どこで受診していますか？
    - 当院
    - 他院
  - 他院を受診する理由( )
    - アルツハイマー
    - リハビリテーション
    - 鍼灸・補助具などの検査
    - 人工関節置換術
    - 骨芽細胞などの手術
    - 定期検査のみ
    - その他( )
- 受けていない・過去に受けていた
- 受ける予定である
  - どこで受ける予定ですか？
    - 当院
    - 他院
  - 他院を受診する理由( )
    - 分からない・決めていない

全日本肝臓学会に関するアンケート調査書

4. 当院における今後の慢性C型肝炎治療体制について、感じられていることなど、何でも結構ですのでお書き下さい。

8. 一般的な院内感染管理で感じられたことなどを教えてください(いくつでも可)。

- 感染管理・防衛の説明を十分受けて安心
- 感染管理・防衛の説明が不十分
- 他の患者と区別なく診察している
- 他の患者と区別して診察している
- 感染管理が厳格である
- 感染管理が緩い
- 分からない
- 特になし
- その他( )

9. 当院における今後の整形外科治療体制について、感じられていることなど、何でも結構ですのでお書き下さい。

9. 意見・要望等、何でも結構ですのでお書き下さい。

1) 患者者、医療機関に対して

2) 地方自治体に対して

3) 国(厚生省、文部省等)に対して

4) その他何でも

全日本肝臓学会に関するアンケート調査書

8. 一般的な院内感染管理で感じられたことなどを教えてください(いくつでも可)。

- 感染管理・防衛の説明を十分受けて安心
- 感染管理・防衛の説明が不十分
- 他の患者と区別なく診察している
- 他の患者と区別して診察している
- 感染管理が厳格である
- 感染管理が緩い
- 分からない
- 特になし
- その他( )

9. 当院における休日・緊急時対応について伺います。

- 対応がすばやく良かった
- 整形外科の対応が十分でなかった
- 血液科の対応が十分でなかった
- 特に不満はない
- いやな思いをしたことがある
- 分からない
- 答えたくない
- その他( )

9. 意見・要望等、何でも結構ですのでお書き下さい。

1) 患者者、医療機関に対して

2) 地方自治体に対して

3) 国(厚生省、文部省等)に対して

4) その他何でも

以上で血液病診療体制に関するニーズ・実態調査を終了します。  
ご協力ありがとうございました。

## 7-3 大阪における若者を対象とした HIV 予防介入研究—第 1 段階の報告—

研究協力者：岳中 美江(国立大阪病院臨床研究部)

### 研究背景

厚生省エイズ動向委員会の平成 12 年 12 月の報告によれば<sup>1)</sup>、依然として異性間による HIV 感染者数は上昇傾向にあり、とりわけ若年層のその数の伸びが危惧されている。さらにクラミジアや淋菌感染症をはじめとする STD の感染者数も増加傾向にあることが諸データにより示されている<sup>2) 3)</sup>。クラミジアなどの STD 感染の拡大は全国的な傾向であり、近畿圏もその例外ではないと予想される。大阪府下における HIV 感染者及び AIDS 患者累積報告件数も、ゆるやかではあるが上昇傾向であることが示されており<sup>4)</sup>、こうした疫学データを鑑みると近畿圏においても HIV/STD 予防介入が早急に必要であると言えよう。しかしながら、大阪府域において若年層を対象とした HIV/STD 予防対策および介入としては、MSM (Men who have Sex with Men) を対象とした MASH 大阪が、研究者とコミュニティ、行政の協働体制によるプロジェクトを実施しているが、その他に対象集団を明確にした、とりわけ若年層女性を対象とした予防介入はこれまで実施されていない。そのため本格的な予防介入の早期実施とその初段階として対象集団の HIV/STD やセックスに関するニーズ・アセスメントの目的と機能をもたせた、実態把握を主目的とする質的調査と量的調査等の諸研究の実施が必要であろう。こうした研究デザインにより、効果的かつ積極的な HIV 予防介入実施の必要性を明確化することが可能となるとともに、実態に即した予防介入を現実のものとして出来よう。

大阪府内における最大の繁華街として、大阪市中央部に位置する‘ミナミ’、大阪市北部に位置する‘キタ’があげられる。ミナミは、昔からの

文化の中心地として活気にあふれ、なんば・道頓堀から心斎橋にかけて商店街・百貨店・飲食店がにぎわい、その一角に低年齢層の若者が主に集まるアメリカ村がある。アメリカ村は地下鉄心斎橋駅の西側、長堀通りから道頓堀までの中央区西心斎橋界隈であり、とりわけ若年層が集まる人気スポット、関西の若者文化発信源として、ファッション、音楽などの刺激に敏感なその地位を確立している<sup>5) 6)</sup>。比較的安価な服(古着等)屋や雑貨屋、飲食店などが集中しているアメリカ村には、個性的なファッションをした若者があふれ<sup>7)</sup>、昼間は買い物客で賑わい夜はナンパ目的の車や、踊りや飲みに来るクラブ客、ライブ客、そしてアメリカ村の中心に位置する公園などに集う若者で賑わいをみせている。また、アメリカ村は‘昼の顔’と‘夜の顔’が全く異なると言われるほど、その様相が時間帯によって変化に富んだ場所であるとも特徴付けられる。

アメリカ村は限られた一角にすぎない地域であるが、そこに集まる若年層にとっては‘刺激’のある個性的な空間であり、同時にその‘刺激’や時間は日常とかけ離れたものでは決してなく、日常生活の延長線上にあると考えられる。あるいは、‘刺激’を求めてそこに集まるというよりはむしろ、刺激的でユニークな、‘人と同じでありたくない’と思うような若年層が集まる場所であるとも言えるかもしれない。同時にアメリカ村は、所謂‘ナンパ・スポット’でもあり、そのためセックスがより身近なものとして存在する空間であるとも言えるだろう。

### 研究目的

本研究の目的は、近年 HIV/STD 感染が増加傾向



にあり HIV/STD 感染拡大防止のための予防介入が必要とされながらその対策が十分にはなされていない、大阪府内の 10 代若年層の HIV 対策実施に資するために、大阪府内の繁華街に集まる 10 代若年層—とりわけ女性—の性行動に関わる実態と HIV/AIDS や STD に関するニーズを査定することである。彼女らの性的健康に関わる実態を明らかにすることは、HIV/STD 感染リスクを削減するための予防介入を、対象集団の HIV/STD に関するリスクの現状に即した形で実施することを可能とし、性的健康の増進に寄与するものと思われる。

## 研究方法

第 1 段階から第 3 段階までの研究計画を設け、本年度は第 1 段階を実施した。第 1 段階の目的は質的調査手法および量的調査手法を活用して、アメリカ村に集まる 10 代女性の性行動に関わる実態を明らかにすることである。第 2 段階は第 1 段階で抽出された対象集団のニーズや現状に即した予防介入プログラムをプランニングすることであり、第 3 段階は予防介入プログラムの実施と効果評価である。本稿では第 1 段階の一部に関して報告する。

### 第 1 段階—1) 参与観察

10 代女性が比較的多く集まる時間帯や曜日、場所、店の種類等を明らかにすることと、同時に彼女らの行動範囲とその傾向を把握することを目的に参与観察を実施した。主な実施時期は 2000 年 7 月～10 月前半であり、現在も継続している。

### 第 1 段階—2) パイロット調査

フォーカスグループ参加者をリクルートするにあたって、10 代女性に関する情報を得ることと、同時にフォーカスグループ実施の実現可能性を

査定することを目的にパイロット調査を実施した。

実施時期は 2000 年 10 月後半の金曜日であり、アメリカ村にいる 10 代女性、基本的に人が座り込み、ゆっくり出来るたまり場的な定点を 4 ヶ所選定した上で実施した。

### 第 1 段階—3) フォーカスグループ

#### A) 参加者リクルート

参与観察によって抽出された定点—アメリカ村内のベンチや階段、花壇など座り込むことが可能であり、‘ぼーっと’している人が比較的多い場所やナンパ・スポットと呼ばれることもある場所 3 箇所—を設定した上で、週末や祝日の午後を中心にフォーカスグループ参加者のリクルートを行った。リクルート実施にあたって、リクルーターはいずれの日も 2 人 1 組のチームで実施した。リクルートをチームで実施した理由として、a) 対象者およびリクルーターの安全を確保するため、2 人 1 組のリクルーターのうち 1 人が対象者に声をかけている間、もう一方は周囲に目を配り、安心して会話ができるように配慮した。b) さらに 2 人 1 組でリクルートすることで、リクルーター側のセレクション・バイアスを軽減することが可能となるとともに、c) 女性 2 人連れのペア（以下ペア）をリクルート対象としていたため、リクルーターも 2 人 1 組である方が適していると判断した。なお、パイロット調査において「友達と一緒になら参加したい」という意見が比較的多くあったため、リクルートの対象は女性 2 人連れにした。

リクルートにあたってリクルーターは、1) 10 代の女性向けに企画をつくっていこうと活動しているプロジェクトのスタッフであると自己紹介し、2) 16 歳～18 歳の女性を対象とした座談会を計画していること、3) その会合では若い女性に役

立つ企画のための情報収集が主な目的であることを説明した。座談会の内容の概略として、4) 普段の生活や興味のあることに関して話してほしいことを説明した。あくまで探索型の調査として参加者が自然に話す内容や文脈から 10 代女性の生活の実状を把握することが目的であり、参加意思確認時におけるバイアスを回避するために性行動について話してほしい等、事前に説明することはあえて避けた<sup>8)</sup>。ただし、日常生活に関する話の中でセックスに関することも話題になるであろうことのみ説明に含めた。その後、フォーカスグループ参加を呼びかける上でスクリーニング項目を含めてしばらくざっくばらんな会話を促した。フォーカスグループ参加者を募集する上での Inclusion criteria (参加取り込み基準) は下記のとおりである。

- 1) 16 歳—18 歳の女性 2 人連れ (ペア)
- 2) 高校在学中であるか否かは問わない (ただし大学生は除外)
- 3) セックスの経験やセックスに関して興味がある
- 4) アメリカ村に好んで来る
- 5) 大阪府内で主に生活している (居住地・学校・仕事)
- 6) フォーカスグループ実施当日 (こちらが設定した 2 日間のうちいずれか) の約束した時間に来ることができる

以上の要件 6 点を備えた者を対象とし、参加を同意したペアにはフォーカスグループ実施予定の 2 つの日程の中から参加可能などどちらか 1 日だけを選んでもらった。その後、プロジェクトの連絡先とフォーカスグループ開催場所や時間の含まれたカードと場所の地図を手渡し、参加予定者の連絡先を記録した。

## B) フォーカスグループ実施前での参加の再確認

フォーカスグループ実施に先立ち、参加の再確認をとるためにリクルート時に記録した参加予定者の携帯電話に、予め知らせてあったプロジェクトの携帯電話から番号発信をした上で連絡をとった。さらにフォーカスグループ実施の前日に再度、場所や時間に関して最終の確認の連絡を行った。

## C) フォーカスグループ実施当日

参加を募り集まってもらった目的、フォーカスグループの進行方法とグラウンドルール (参加者全員にまず理解してもらいたい内容: プライバシーを守る、お互いを尊重する、個人のペースで参加する等の基本的ルール) の説明、および録音やメモによって記録を残すことに関する承諾を得た。その後、フォーカスグループ時の呼び名に合わせて自己紹介、アイスブレイキング (緊張を解き、その場を和ませる効用があり、グループとして会話が弾むことを目的として行う導入段階である) を行った。

フォーカスグループの内容は、①アメリカ村で過ごす時間を含めた日常生活について、②性行動について (セックスや相手との関係、HIV/STD やその感染の関連性に関する意識、知識、自分と STD の関連性についてなどを含む) を主な話題として実施した。その際、モデレーター (進行役) は、話題の方向性を限定せず、その場の話題の展開に応じた会話を促すため、こうした話題のきっかけづくりとなる発言は最小限にとどめた。また、内容の要約や焦点付けは適宜行った。

フォーカスグループ実施にあたっては、アメリカ村に位置するレストランの一室を借りて 2000 年 12 月 16 日土曜日と 12 月 17 日日曜日に行った。時間はフォーカスグループの 2 時間に食事の時間

を加えた約3時間である。このフォーカスグループ後の1時間は、フォーカスグループ実施中に参加者から出されたHIV/STDに関する質問について話し合いつつ、参加者の不確かかつ不十分な知識を補う<sup>8)</sup>ことを目的とした。また、そこに食事を交えることで、日常生活により近い空間の提供につながり、会話を持ちやすい場になると考えた。さらに、食事の提供には研究参加に対する謝礼<sup>8)</sup>の意味をもたせた。これは、パイロット調査時に、研究参加協力に対する謝礼としては「食事がいい」という声が最も多く聞かれたためである。

フォーカスグループ実施にあたっては、主な進行役のモデレーターと、話の中に入りながら参加者の表情などの反応や参加者同士の相互作用を記録をするコ・モデレーターの二人のスタッフを配置し、カセットテープ等の録音設備を準備した。また、フォーカスグループ後の1時間において参加者の質問や話題に対してHIV/AIDSやSTDの情報提供をする際の材料(内容は大阪府内のHIV抗体検査場所やSTDクリニックなどの情報リスト、コンドーム・女性用コンドームのサンプル)を用意した。

## 研究結果

1) 参与観察によって明らかとなったリクルートに適した条件は、人出が多く、なおかつ10代女性が買い物などの合い間でゆっくりするために座り込みはじめる時間帯で週末の15時~20時位であり、その場所は座り込める場所やたまりやすい場所であることである。

2) パイロット調査によって明らかとなったフォーカスグループ参加のための状況の特徴は、友達と一緒にいるならば参加することが比較的容易であること、すでに性経験があると興味を抱きやすいこと、謝礼として食事を提供することが有効なことである。

### 3) フォーカスグループ

4人のリクルーター(20代後半~30代前半の女性3人男性1人)が2000年11月23日~12月14日の間の合計6日間に渡って、フォーカスグループ参加者のリクルートにあたり、計10ペア20人の10代女性の参加希望者を得た。Inclusion criteriaを満たした者のうちの、リクルート率および拒否理由は表1の通りである。

表 1

	リクルート日						計
	11/23(祝)	12/2(土)	12/3(日)	12/7(木)	12/12(火)	12/14(木)	
参加希望	2	3	0		1	2	10
年齢対象外	5	3	4	2			12
生活圏*大阪外	2	1					3
日程あわず	1	3		1	1	1	7
興味なし	1	1	1		1	1	5
よくわからない			1				1
連絡先もらわず				1			1
アウトリーチ**計	11	11	6	4	3	4	39
リクルート率	50%	75%	0%	50%	33%	50%	42%

\*生活圏：学校・職場もしくは居住地が大阪府内

\*\*アウトリーチ：参加を募るため定点において声をかけた数

フォーカスグループ当日に参加した実際の人数は、2ペア+1人=5人であった。参加者の全てが大阪市もしくは大阪府内の高校の3年生であった。

フォーカスグループという手法は限られた人数を対象にした質的研究であり、その結果を安易に一般化することは避けなければならないという手法の限界があることを予め明記した上で、現段階で抽出された共通の話題や傾向に関して記述する（途中経過）。

#### フォーカスグループにおける発言

興味のあること

- B 特に趣味とかないな、はまってんの、男。  
 A 普通に男やんな。男の話しかせーへん。でも言わなくなるのかなと思う、落ち着いて来たら。  
 B 私らって今学生じゃないですか、だから別に勉強ガ一ってこともなく、やっぱ彼氏ができたら彼氏のことばっか考えちゃうんですよ。  
 A めっちゃ好きな人欲しい、私。  
 C ほかの学校の友達が今はすごいつきあいの発生率が多いって言ってた。やっぱ最後のクリスマスだし。  
 B 結構この子クラブ行ってる。  
 A 行ってたな、前は。今はおとなしくなった、ここ3週間。  
 A 男見に来たり、人のファッションぬすみにきたり  
 B 絶対男やる？男見てんねやろー？  
 A そうそう、男をつかまえに。あ、この人かっこいいと思ったら、ね、あの人知らなくて聞くねん、人に。  
 A 土曜日は毎週（クラブに）行ってた。  
 A 好きな人ができて（その人に会うため）。  
 A 男友達（が欲しい）。ちゃんとした。友達やけど、めっちゃ二人で遊んでも恋人とかにみられへんような

友達が欲しい。

B それはエッチ抜きで？

A うん、抜きで。友達として・・・。

B うそー、絶対やるって。

D（友達からの携帯メール）たまにこないと心配になりますよね。

A はまってること、携帯電話。今日来んですよー（新機種）はまる、多分。

C 今〇〇（携帯会社）てやばくないですか、〇〇のほうが伸びてないですか。

C だから買い換えなくちゃなーとか。

アメリカ村

C やっぱり物が安くていっぱいあるから。

C ブラブラできるし。

D 買い物とか。

C 金曜とか多い、週末とか。

D 中学のときも出てきたりしてたけど、でもやっぱり高校になってからかな。

E 買い物とか、ね？

C いろいろ回る。あまり決まったところはないかな。普通に。

A 梅田行くんやったら、アメ村来るかな。

C（放課後）すぐ帰ってるんじゃないかな。でもって、地元で遊ぶか、アメ村に来て遊ぶかな。

C うちの学校はアメ村系かギャル系か・・・。

金銭面

D 仕送り、一人暮らしだから。

D 5万とか・・・携帯代とかは別で。

C（携帯とか）もう親まかせ。